

六ヶ所・核燃料サイクルセミナー

日本原子力研究開発機構は、我が国初の商業用再処理工場である六ヶ所再処理工場への技術支援及び技術開発協力を行っております。

本セミナーは、「原子力研究開発の現状と身近な原子力理解活動」を副題とし、最新の技術開発及び広く応用が期待される基盤的研究開発について報告するとともに、幅広い視点からの議論を踏まえ、今後の研究開発の在り方や原子力理解活動について意見交換することを目的としております。



(昨年の講演風景)

日時

平成29年8月30日(水) 13:00~17:30 (予定)

場所

六ヶ所村文化交流プラザ「スワニー」 大会議室

セミナー

参加無料

基調
講演

「次の世代へのメッセージ ~六ヶ所で思うこと~」



弁護士

住田 裕子 氏 (すみた ひろこ)

プロフィール

兵庫県加古川市生まれ。東京大学法学部卒業。昭和54年東京地検検事に任官し、以後、大阪等各地の地検検事として転勤を重ね、昭和62年に女性初の法務省民事局付検事として民法・国際私法等の改正を担当。平成2年に全省庁女性初の法務大臣秘書官に就任。その後、司法研修所教官等を経て、平成8年弁護士登録し、さまざまな公職や獨協大学特任教授などを歴任。現在、NPO長寿安心会の代表として長寿社会の安全安心な社会づくりのために奮闘中。「住田裕子の老後安心相談所」「住田裕子の離婚相談所」などの著書・論文多数。

[講演概要はこちら](#)

I 原子力先端技術の現状

座長：小泉 務（原子力機構 核燃料サイクル工学研究所 環境技術開発センター 副センター長）

- 「安全性と核変換の調和を目指した放射性廃棄物を低減する炉心開発」
大木 繁夫（原子力機構 次世代高速炉サイクル研究開発センター グループリーダー）
- 「ITER遠隔実験技術の開発」
小関 隆久（量研 六ヶ所核融合研究所 核融合炉システム研究開発部 次長）
- 「乾式再処理法によるマイナーアクチノイド核変換用窒化物燃料処理技術の開発」
林 博和（原子力機構 原子力基礎工学研究センター グループリーダー）

II 次世代サイクル技術の現状

座長：大木 繁夫（原子力機構 次世代高速炉サイクル研究開発センター グループリーダー）

- 「マイナーアクチノイド（MA）分離と海外との技術協力について」
小泉 務（原子力機構 核燃料サイクル工学研究所 環境技術開発センター 副センター長）
- 「高速炉サイクル実用化に向けた原子力機構の取組」
阪本 善彦（原子力機構 次世代高速炉サイクル研究開発センター 技術副主幹）
- 「微生物を利用した核種分離研究」
鶴田 猛彦（八戸工業大学 工学部 バイオ環境工学科 教授）

III 身近な原子力理解活動

座長：鶴田 猛彦（八戸工業大学 工学部 バイオ環境工学科 教授）

- 「日本原燃における身近な広聴・広報活動」
相沢 章雄（日本原燃株式会社 地域・業務本部 広報部長）
- 「原子力機構における地域の方々へのコミュニケーション活動」
鈴木 政浩（原子力機構 核燃料サイクル工学研究所 計画管理室長）

会場のご案内



お問い合わせ先



国立研究開発法人日本原子力研究開発機構
六ヶ所・核燃料サイクルセミナー事務局 (担当: 笹山、齋藤)

電話番号 029-282-1133 (内線 42023)

Eメール cycleseminar@jaea.go.jp

基調講演概要

【次の世代へのメッセージ～六ヶ所で思うこと～】

弁護士 住田 裕子

1. 司法が原発の再稼働をストップ！
高浜原発の再稼働が仮処分によりストップした事例を解説
2. 「仮処分」とは？ ……判決との違い
3. 大津地裁の再稼働を認めない裁判の論理は？
裁判の論理を、再稼働を認めるものと認めないもので比較解説
4. 日本の安全基準は世界的にみてどうか？
5. 福島事故による直接・間接の被害について
6. 原発は地震の揺れで破壊されたか？
福島事故は、原発の耐震性能に起因するのか確認
7. 過去にも新潟中越沖地震で柏崎刈羽原発に火災が発生
原発火災に対する原因と対応例を確認
8. 原発への反対意見についての代表的な理由の整理
9. 政策方針変更の事例
当初に原発に反対していた政治家が、賛成に転じた理由とは？
10. 身近な放射線、暮らしに役立つ放射線の紹介
11. そもそも科学は便利だが、危険性をも併せ持つもの
自動車、飛行機等、便利な技術の危険性にどう向き合ってきたか？
12. パリ協定 温室効果ガスをできるだけ減らす
地球温暖化を防ぐには、省エネだけでいいのか？
13. 核燃料サイクルと使用済み燃料
増え続ける使用済み燃料対策は、重要課題。核燃料サイクルの役割は？
14. 海外の動向
産油国、資源小国、先進国の原発戦略は？
15. 経済面でも一定程度必要
原子力発電がなくなったとき、代わりはあるか、何が起きるか？

平成 29 年 8 月 30 日 (水) 開催
六ヶ所・核燃料サイクルセミナー

お申込み方法

参加ご希望の方は、[参加申込書 \(Word 約 36.0 KB\) \[クリックしてダウンロード\]](#) に所属・氏名・連絡先等をご記入の上、

平成 29 年 8 月 23 日 (水) までに E メール または FAX でお申込みください。

- 当日は送迎バスがあります (10 時三沢駅発)。ご利用を希望される方は参加申込書にご記入ください。
- 当日はお弁当をご用意いたします (1,000 円)。ご希望される方は参加申込書にご記入ください。

※いただいた個人情報につきましては、当セミナーを実施する目的以外に使用いたしません。

お申込み・お問合せ先

お申込みは「六ヶ所・核燃料サイクルセミナー」事務局宛にお願いいたします。

E メール : cycleseminar@jaea.go.jp

F A X : 0 2 9 - 2 8 2 - 9 9 4 6

ご不明な点等ございましたら、下記までお問い合わせください。

電話番号 : 0 2 9 - 2 8 2 - 1 1 3 3 (音声ガイダンス後、内線 4 2 0 2 3)

担 当 : 笹山 (ささやま)、齋藤 (さいとう)

受付時間 : 9 : 00 ~ 17 : 30 (土曜日、日曜日、祝祭日をのぞく)

基調講演 事前質問の受付について

基調講演に限り当日のご質問は受付できません。当日は事前に頂いた質問の中から回答させていただきますので、ご質問される方は[基調講演概要](#)をご参考に、事前質問欄にてお申込み願います。